

令和7年度補正予算

「産学連携・スキリング・
エコシステム構築事業」
補助金事業

大学リ・スキリングプログラム事例集

メニュー②「産業成長」

領域：マーケプロ



早稲田大学: CMO Program

プログラム概要

① 名称

- CMO Program – 企業経営を牽引するマーケティングを学ぶ総合講座

② 目的

- 企業の最高マーケティング責任者（CMO）やマーケティング部門の責任者を対象に、「企業経営を推進するマーケティング」の理論・実践知を提供し、企業の成長と収益性向上に資するマーケティングの実践を指揮する人材を養成すること

③ 対象者層

- 企業のCMOまたは、マーケティング本部長、マーケティング部長など、マーケティング部門の責任者およびそれらの候補者であること

④ 育成対象の課題・目指す姿

- マーケティングの理念、理論、実践知を深く理解するとともに、優れたリーダーシップを有し、企業のマーケティングを牽引することができる人材
- 効果的なマーケティングを実行することで、当該企業の収益性向上と成長に貢献できる人材

⑤ 学修成果

- 企業経営におけるマーケティングの役割理解
- 実践的な戦略立案に必要な知識と視点

カリキュラム内容

① カリキュラム特徴

著名な講師陣

- 日本を代表する企業でマーケティングを指揮・実践している方々、当該テーマに関する学术界/産業界の第一人者の方々など、著名な講師陣から学びます。

総合的な学び

- 経営者としてのCMOを養成するために必要となる事項を体系的かつ包括的に学びます。基礎的なテーマではなく、CMOの役割、企業経営とマーケティングの関係、リーダーシップ、収益モデル、顧客理解、AIによる市場環境の変化など企業経営を牽引するために必要な知識・スキルを総合的に学びます。

学修成果報告会

- プログラム修了後、受講者は自社で学修成果報告会を実施し、学びを社内に共有することで、他のマーケティングスタッフの学習意欲を高め、組織全体のマーケティング力向上へとつなげる仕組みが特徴です。

② アピールポイント

修了者にはデジタルバッジを発行予定

- 保有スキルの社内外での可視化が可能で、キャリアアップ・異動・再配置におけるスキル証明ツールとしての活用が可能



早稲田大学: CMO Program

プログラム詳細

⑥ 受講料

- 66万円（税込）

⑦ 受講人数

- 20人

⑧ 受講時間数

- 40時間

⑨ 開講時期・所要期間

- 2026年10月~2027年2月の期間で、毎月2~3回のペースで通学

⑩ 社会人の学びやすさへの配慮

- 原則、全ての講義の録画を行い、欠席者にはオンデマンドで配信
- 実施場所は利便性の高い日本橋キャンパスで実施

⑪ 実施形式

- 対面

申込方法・サイトURL

- URL(<https://wasedaneo.jp/service/cmo-program/>)から申込

担当連絡先

- 早稲田大学教務部コンティニューイング・エデュケーション推進室
Mail : cmo_program@list.waseda.jp Tel : 03-6262-7534

⑫ シラバス

科目名	担当講師
マーケティング組織と戦略	守口 剛
CMOの役割：グループ成長戦略とマーケティングの役割	河野 奈保
CMOの役割：マーケティング実行力の向上	足立 光
CMOの役割：企業変革をドライブするマーケティング	山口 有希子
経営・マーケティングの戦略課題とAIの影響	西口 一希
競争戦略の基盤論理	楠木 建
リーダーシップと意思決定	内田 和成
価値創造の経営戦略	西山 茂
顧客体験価値とブランド価値の向上	森井 久恵
ビジネスモデルー収益向上の仕組みー	井上 達彦
AI集中講義① 生成AI・AIエージェントがもたらすマーケティングへのインパクト	西脇 資哲
AI集中講義② 先端テクノロジーとAIが拓く新しいマーケティング	馬淵 邦美
AI集中講義③ 企業における生成AI活用の現状と展望	小林 学

※上記科目以外にも科目を拡充する予定

早稲田大学: CMO Program

昨年度プログラム内容

プログラム写真



受講者数

- 18名

実際のプログラム実施内容

- 講義15回（企業経営とマーケティング、マーケティング戦略、マーケティング組織、リーダーシップ等に関する講義）
- 最終演習課題（自社のマーケティング課題の整理と解決に向けた計画策定）

昨年度成果サマリー

満足度

- 100%（5段階評価の上位2つ「満足」「やや満足」と回答した割合）

受講生の声

- CMOの役割やマーケティングの意義、ブランド考察、組織活性化、財務目線のマーケティングなど、多角的なテーマについて、それぞれの分野のエキスパートから直接講義を受けることができ、大変満足しています。
- 講師陣が非常に充実しており、毎回楽しく学んでいます。また、マーケティング部長、もしくはそれに準ずる役職者同士で、同じような悩みを共有でき、参加者同士から刺激を受けられる数少ない貴重な機会だと感じています。
- どの講義も新鮮で非常に有益です。学びの共有の場では、他の受講生の感じ方や捉え方を知ることができ、大変参考になっています。
- 毎回の講義内容が非常に濃く、多くの刺激を受けています。学術教員が作成した事後教材も大変有意義で、理解を深めるうえで役立っています。

昨年度の実施を踏まえた発展ポイント

- 生成AIの技術動向やマーケティング実務への活用事例を扱う集中講義を設け、AI活用に関する教育内容を強化する。
- 各受講者による自社課題の発表とグループディスカッションの機会を拡充し、受講者間の相互学習の促進およびネットワーキング強化を図る。